

2019 年度第 3 四半期決算 電話会議

2020 年 1 月 30 日 18:30-19:30

説明者: 株式会社新生銀行 チーフオフィサー グループ企画財務 平野 昇一

質疑応答要旨

質問: 自己株式取得について、通期 235 億円の上限枠に対して、12 月までで 150 億円しか行われていないかと思えます。毎月、今までですと 20 億円程度が上限ということはないですが、せいぜい 20 億円程度のペースですので、このままだと 3 月末に 235 億円に達しないようなペースでここまではきているかと思えます。

1 点だけ確認ですが、何にしても 3 月末まではこれから自己株式取得を加速して、必ず 235 億円まではやり切るのか。それとも自然体で、あくまで上限なので、場合によっては株価等で未達となる可能性もあるのか。この点だけ確認させてください。

平野: 自己株式の取得状況ですが、これはインサイダー情報なので現時点では 12 月末時点の取得状況を公表していますが、同じようにまた月末時点で締めたものを翌月初に公表する予定です。計画に沿って進捗していると認識しておりまして、特段懸念は持っておりません。

質問: 計画は 235 億円ということで、宜しいでしょうか。

平野: はい。特にその枠を残そうとか、そういうことを考えているわけではありません。

質問: 質問 2 点ございます。アルヒさんの仲介ポートフォリオの状況、これはアプラスの話だと思っておりますが、実際の足元の信用状況の変化は今どうなっているのでしょうか。特段変化がなければ、ないということ、何か変化があれば教えてください。

またリスクについては実際のところ、現時点でどう見られているのでしょうか。また、この与信費用発生時の責任の問題について、あくまで法的措置は不動産業者に対してしかできないという認識でよろしいのでしょうか。可能な範囲で教えてください。こちらが 1 点目です。

2 点目が、こちらもお答えいただけるかどうか微妙ですけれども、1 月 8 日付で SBI さんが 5% の大量保有報告を出されています。こちらについてマネジメントは以前から把握していたのかどうかと、現状これをどのように考えていらっしゃるのかについて教えてください。以上です。

平野：まず1点目、アルヒとの提携関係はアプラスの話ではありますが、分かる範囲でお答えします。足元の信用状況についてどうかということですが、今のところ特段何か信用状況が悪化しているということは聞いておりません。

それから今、この内容についてはプレスリリースでアプラスが公表しておりますが、色々な件について調査段階ですので、何がどうということコメントできません。もし何か不正などがあれば、それに対しては厳正に対応いたします。必要があれば損害賠償なども考えると思いますが、これは実際に実態がきちんと分からないと、どういうアクションをするかお答えできません。

2点目、SBIさんの件ですが。もともと4点何パーセントか、5%弱ぐらいを保有されていて、5%を超えたので大量保有報告が出たと認識しております。先方でも公表されてますが、目的は純投資と聞いております。

質問：1点です。先ほどのアプラスに関するコメントですが、現状で信用悪化はないとご説明いただきました。この信用悪化とは何をもって、又は何があれば信用悪化が起こると認識されるのでしょうか。

例えば、利払いが止まるとか、元本の返済が止まるとか色々な条件があると思います。どのような状況を想定して信用悪化とされるのかを教えてください。

平野：延滞が急に沢山増えるとか、そういったことがないかどうかという意味です。

以上

2019 年度第 3 四半期決算 電話会議

2020 年 1 月 30 日 22:00-22:30

説明者: 株式会社新生銀行 専務執行役員 特命担当 サンジープ グプタ

質疑応答要旨

質問: アプラスのアルヒ関連の調査にかかる期間はどのくらいでしょうか。2 月 20 日に新生銀行で開催される IR Day で調査結果を報告する予定でしょうか。

グプタ: 先ほどご説明申し上げたとおり、私共は現在この件について調査を行っています。現時点で、一部の販売事業者において対象となる案件が集中していることを確認しています。調査の進展により新たな事実が判明いたしましたら、速やかにリリース等を通じてステークホルダーの皆様にお知らせいたします。

現時点では調査期間は不明ですが、私共の最優先事項として取り組んでいく所存です。

質問: アプラスの投資用ローンの残高は 2019 年 12 月末 1,550 億円で宜しいでしょうか。

グプタ: はい。それらは投資用マンションローンで、148 億円の割賦形態を含んでいます。

質問: そのうち、アルヒが仲介した残高は 1,430 億円で宜しいでしょうか。

グプタ: その通りです。

質問: なぜ 1 社からの案件がこれほど高い割合を占めているのか教えてください。仲介会社が複数ではない理由はなぜでしょうか。

グプタ: 私の理解では、アルヒは中古マンションに特化したサービスを展開するビジネスモデルであり、アプラスではそのような中古マンションの購入者に対して与信を提供しています。平均残高が約 1,200 万円の理由は、新築ではなく中古物件だからです。

アルヒと提携している不動産販売業者の多くは中古マンションに特化しており、アプラスは長年連携してビジネスに取り組んでいます。

質問: 分かりました。確認のために教えてください。アプラス取締役のメンバーに新生銀行出身者は何名いますか。

グプタ: アプラスの取締役メンバー8名のうち4名が新生銀行出身者です。取締役の半数を新生銀行出身者が占めています。

以上